

第	号
-8.4.21	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

事前評価に関する書面

令和 8年 4月 2 | 日

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号
申請者 株式会社DNPファインオプトロニクス
代表取締役 中西 稔

1	工場又は事業場の名称及び所在地	株式会社DNPファインオプトロニクス 三原東工場 広島県三原市沼田西町小原73番地の1	
2	許可申請の概要	別紙1のとおり	
3	工場又は事業場の排水口の位置及び数 (施行規則第4条第1項第1号)	排水口の位置	別図1のとおり
		排水口の数	9箇所
4	排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項 (同第2号)	別紙2のとおり	
5	各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大の量 (同第4号)	別紙3のとおり	
6	周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項 (同第3号)	別紙4, 別紙5, 別図2のとおり	
	排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法 (同第5号)		
7	その他当該特定施設の設置又は構造等の変更が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項 (同第6号)		

別図2として、周辺公共用水域の範囲、測定点の場所が分かる図面を添付し、周辺公共用水域の決定の根拠も記載すること。

許可申請書の概要

(1) 特定施設設置(変更)の理由及び内容

< 6 5 >酸又はアルカリによる表面処理施設を 1 台、< 5 3 >-ロ 廃ガス洗浄施設 2 台を新設する。また、既設の特定施設 2 台（前処理（O-CM）、現像機（O-BM））の使用の方法を変更する。

(2) 排水処理施設の設置，変更等の内容

上記(1)の変更に伴い、処理施設における処理前後の汚染状態の増減はあるが、無機凝集剤の注入量変更により、処理後汚染状態は変更前とくらべ同等以下とする。

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少する場合はその理由
(変更がない場合も含む。)

排水口における排出水の汚染状態及び量は変更前とくらべ、同等以下である。

排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準
 その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003 mg/L以下	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
全シアン	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下
鉛	0.01 mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下
六価クロム	0.05 mg/L以下	1, 3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
砒素	0.01 mg/L以下	チウラム	0.006 mg/L以下
総水銀	0.0005 mg/L以下	シマジン	0.003 mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。	チオベンカルブ	0.02 mg/L以下
P C B	検出されないこと。	ベンゼン	0.01 mg/L以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下	セレン	0.01 mg/L以下
四塩化炭素	0.002 mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下	ふっ素 (海域除く)	0.8 mg/L以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ほう素 (海域除く)	1 mg/L以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	1, 4-ジオキサン	0.05 mg/L以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1 mg/L以下		

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川の水域名, 海域名		沼田川下流	燧灘北西部
類型		B 型	海域 A II 類
基準値	水素イオン濃度 (pH) (水素指数)	6.5~8.5	7.8~8.3
	生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	3mg/l 以下	—
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	—	2mg/l 以下
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	25mg/l 以下	—
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	5mg/l 以上	7.5mg/l 以上
	大腸菌数 (CFU/100mL)	1000CFU/100ml 以下	20CFU/100ml 以下
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等) (mg/L)	—	検出されないこと
	全窒素 (mg/L)	—	0.3mg/l 以下
	全燐 (mg/L)	—	0.03mg/l 以下
	全亜鉛 (mg/L)	—	—

排出先の類型が2以上となる場合は、欄を追加すること。

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

ア ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

媒体	基準値
ダイオキシン類 (水底の底質を除く。)	1 pg-TEQ/L以下

イ その他

各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値
並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大の量

[変更前]

排水口名		大日本印刷排水口1		大日本印刷排水口2		大日本印刷排水口3		総合円中心排水口	
項目	区分	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	排出水量(m ³ /日)		1048.0	1154.7	5048.8	5772.5	2730.7	3191.2	
排出水の汚染状態	pH(水素指数)	6~8	5.8~8.6	6~8	5.8~8.6	6~8	5.8~8.6		
	BOD(mg/L)	11.2	19.2	11.2	19.2	11.2	19.2		
	COD(mg/L)	9.9	15	9.9	15	9.9	15		
	SS(mg/L)	6.6	9.4	6.6	9.4	6.6	9.4		
	全窒素(mg/L)	8.15	11.33	8.15	11.33	8.15	11.33		
	全燐(mg/L)	1.00	1.32	1.00	1.32	1.00	1.32		
	Fe(mg/L)	0.9	7.6	0.9	7.6	0.9	7.6		
	Cr6+(mg/L)	0.015	0.20	0.015	0.20	0.015	0.20		
	T-Cr+(mg/L)	0.075	1.5	0.075	1.5	0.075	1.5		
	大腸菌数(CFU/ml)	500	600	500	600	500	600		
	ノルマルヘキサノール(鉱油類)(mg/L)	2.59	4.17	2.59	4.17	2.59	4.17		
	アンモニア性窒素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)	2.1	6.7	2.1	6.7	2.1	6.7		
	ホウ素及びその化合物(mg/L)	0.12	1.83	0.12	1.83	0.12	1.83		
COD負荷量(kg/日)		11.43		57.15		31.59			
窒素負荷量(kg/日)		9.41		47.05		26.01			
燐負荷量(kg/日)		1.15		5.77		3.19			

[変更後]

排水口名		大日本印刷排水口1		大日本印刷排水口2		大日本印刷排水口3		総合円中心排水口	
項目	区分	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	排出水量(m ³ /日)		1048.0	1154.7	5048.8	5772.5	2730.7	3191.2	
排出水の汚染状態	pH(水素指数)	6~8	5.8~8.6	6~8	5.8~8.6	6~8	5.8~8.6		
	BOD(mg/L)	11.2	19.2	11.2	19.2	11.2	19.2		
	COD(mg/L)	9.9	15	9.9	15	9.9	15		
	SS(mg/L)	6.6	9.4	6.6	9.4	6.6	9.4		
	全窒素(mg/L)	8.14	11.33	8.14	11.33	8.14	11.33		
	全燐(mg/L)	1.00	1.32	1.00	1.32	1.00	1.32		
	Fe(mg/L)	0.9	7.6	0.9	7.6	0.9	7.6		
	Cr6+(mg/L)	0.015	0.20	0.015	0.20	0.015	0.20		
	T-Cr+(mg/L)	0.075	1.5	0.075	1.5	0.075	1.5		
	大腸菌数(CFU/ml)	500	600	500	600	500	600		
	ノルマルヘキサノール(鉱油類)(mg/L)	2.59	4.17	2.59	4.17	2.59	4.17		
	アンモニア性窒素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)	2.1	6.7	2.1	6.7	2.1	6.7		
	ホウ素及びその化合物(mg/L)	0.12	1.83	0.12	1.83	0.12	1.83		
COD負荷量(kg/日)		11.43		57.15		31.59			
窒素負荷量(kg/日)		9.40		46.99		25.98			
燐負荷量(kg/日)		1.15		5.77		3.19			

負荷量は排水口ごとに

通常の汚染状態(mg/L) × 最大排水量(m³/日) × 10⁻³で計算する。

別紙4-2 周辺公共用水域の水質の現況水質その他当該水域の現況に関する
事項（河川，環境基準点等）

採水機関名	㈱日本総合化学		分析機関名	㈱日本総合化学						
採水点名	定屋大橋									
2024年 4月 から 2025年 3月までの過去1か年間における平均水質										
項目 区分	pH (水素指数)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全リン (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100ml)	全亜鉛 (mg/L)	
水質の現況	7.6	1.1	3.1	4	—	—	8.5	380	—	

別紙 4 - 4 周辺公共用水域の水質の現況水質その他当該水域の現況に関する
事項（海域，環境基準点等）

採水機関名	(株)日本総合化学					分析機関名	(株)日本総合化学			
測定点名	燧灘北西部 2 5									
2024 年 4 月 から 2025 年 3 月までの過去 1 か年間に於ける平均水質										
区分	項目	p H (水素指数)	COD (mg/L)	S S (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	DO (mg/L)	n-ヘキサン 抽出物質 (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100ml)	全亜鉛 (mg/L)
水現 質 の 況	表層	8.1	1.5	—	0.11	0.023	7.8	<0.5	1	—
	中層	8.1	1.6	—	—	—	7.7	—	—	—
	下層	8.1	1.5	—	—	—	7.8	—	—	—
	平均	8.1	1.5	—	0.11	0.023	7.8	<0.5	1	—

別紙 5 - 1 排水水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の範囲
並びに将来水質の予測（河川）

「排水口での水質及び量が増大しないため、記載は省略した」

別紙5-2 排水水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の範囲
並びに将来水質の予測（海域）

「排水口での水質及び量が増大しないため、記載は省略した」

